

四国のみち⑳ 「千羽海崖を望むみち」

【日 時】 2017年3月18日（土曜日）

【天 候】 晴れ

【メンバー】 C L 斎田寿子 S L 米原昭雄 天野民代 加地幹夫 斉藤和枝
板東洋明 丸岡 隆 川口晴代 佐野知里 山西洋一郎
逢坂 忠 木村幸子

計 12名

【アクセス】

那賀川新橋、工事中で通行規制の為、混雑を避けて、国道55号線を赤石より県道130号に入り、24号線へと向かい、桑野を通過して、新野を経て福井で55号線と合流し日和佐道路に入り日和佐道の駅に至る。道の駅に駐車して裏に隣接する、出発地点のJR日和佐駅へ歩道橋を渡って移動する。

帰路は、JR山河内駅より列車でJR日和佐駅に帰ってくる。

【コースタイム】

JR日和佐駅……0.7km（20分）……日和佐城……1.5km（35分）……指ノ鼻休憩所……0.7km（20分）……大磯休憩所……1km（25分）……嵐瀬休憩所……1km（35分）……通り岩休憩所……1.3km（35分）……千羽休憩所……6km（2時間）……JR山河内駅

計 歩行距離 12.2km 所要時間 約4時間50分

【コース概要】

出発地点JR日和佐駅から四国の道が始まる。駅から東にそびえる日和佐城に向かい、城の右手にある四国のみちの案内板横の遊歩道から登っていく。上にあがると日和佐の町並が見渡せる。薬王寺、大浜海岸も見える。

指ノ鼻～大磯～嵐瀬～通り岩～千羽と各休憩所があり、それぞれの休憩所は海が眺められる絶好のビューポイントになっている。

千羽海崖は、大磯から外の傘井まで約2kmの海岸に高さ200m前後の海蝕が続いている。特に、千羽ヶ岳付近での垂直に切り立った海崖は、全国的にも有数の大岩壁になっている。

全体的に、アップダウンも各所にありますが、嵐瀬休憩所から通り岩休憩所への行程が登りの一番長い急坂である。そして千羽休憩所を過ぎてNTT電波塔から下山口まで長い下りが続く。下山してから白沢村の田園の中の舗装道路を2.2km歩くと終点のJR山河内駅に到着する。

【リーダーの感想】

全長12.2km、標高差290mほどあり、登り下りもかなりある。青い海と緑の山の両方味わえる変化に富んだおもしろいコースだった。

歩いていて常に海が見えるわけではないけれど、各休憩所では太平洋の紺碧の海が現れてすがすがしい。

椿やウバメガシの灌木が茂り、シダ類が裾をおおい南の海沿いの雰囲気を感じる。

また、荒波に洞窟をくり貫かれた通り岩（幅、高さとも約10m長さ約20m）なども、嵐瀬休憩所から遠望でき、見どころも多い。



① 大磯休憩所



② 大浜海岸と恵比寿洞



③ 嵐瀬休憩所



④ 通り岩休憩所への登り



⑤ 山河内駅

